

# 鹿児島県本部第72回定期大会開催される!

全国一般からは二つの新規分会の報告と統合問題についての発言がされた!

自治労鹿児島県本部は9月30日から10月1日の二日間「出水市音楽ホール」で第72回定期大会を開催した。大浦書記長は県本部執行部として、全国一般からは藤久保委員長、樋口副委員長、立山書記次長、あべ野書記次長、階元執行委員が参加した。

大会では2010年度一般経過報告・一般会計決算報告・会計監査報告がされた。また、議事として1号議案2011年度運動方針(案)から8号議案までが二日間を通じて提案された。

大会の総括では2年連続で月例給、一時金とも引き下げの勧告を受けた報告に対して代議員から県本部として、当局にこれ以上の削減は生活の根幹を揺るがす問題であり、これ以上の削減を許さないように働きかけてほしいという意見が出された。

また、全国一般からは藤久保委員長が最近結成された二つの分会について発言した。「まず昨年11月に鹿児島市交通局の嘱託職員から労働相談を受け対応してきた。鹿児島市交通局の収益の低下に伴い、一部バス事業の民間委託を行う提案が当局から行われ、当該の委託現場は嘱託職員しか配置をされておらず、正規労働者で組織する都市交労働組合では反対運動もなく当局の方針のまま推移した。嘱託職員は個別に反論したが、どこにも聞き入れられず全国一般に相談がされ組織化した。次に2010年7月に組織化された帖佐運送分会については不当労働行為が続いており処遇改善についての要求書を提出して会社と交渉を進めていることの説明がされた。全国一般としては今後も創意工夫を行い、協議を進めていくが県本部の支援協力をお願いしたい。また、鹿児島総支部の仲間の協力も得ながら、たたかいを進めていきたい」と結んだ。

また、二日目の討論で樋口副委員長からは全国一般と自治労との統合問題について、全国一般評議会の議長を選出している県本部として自治労本部の大会でも中央本部に要請した件について次のように発言がされた。

「2009年1月に全国の県本部段階で全国一般との統合がされ、すでに1年半が経過していますが、現在においても「石川・



大会で発言する樋口副委員長

福井・岐阜」三県本部と全国一般の当該地方労組が統合されず、中央本部直轄扱いとなっている問題であります。2008年12月末に2年間の猶予措置として協定書を締結したとなっておりますが、その期限も今年の年末であり、残すところ3ヶ月しかありません。全国一般では自治労との統合に同意しなかった東京一般とは、労働組合組織として断腸の思いで袂を分かちました。しかし、同じ労働組合組織としての自治労内ではこのような異常な状況が継続しており、自治労としても大きな汚点となります。完全統合が早急に解決されるよう全国一般としても努力しますが、自治労鹿児島県本部としてもあらゆる場で中央本部への要請をお願いしたいと思えます。」

## 《今後の予定》

10月23日全国一般第56回定期大会

場所 アーバンポートホテル

学習会10時30分、大会13時30分から

## 帖佐運送分会団体交渉開催される

帖佐運送分会では第2回団体交渉を10月31日一時から帖佐運送控室で開催した。全国一般からは藤久保委員長・樋口副委員長・階元執行委員が参加した分会として三つの要求内容を事前に提出していた。

一つ目は、待機時間(休憩時間)のあり方であり会社側の回答を求めた。会社の考え方は、①前回同様に認められないとの回答、②涼しくなってきた今の季節に待機時間にアイドリングを行い、エアコン使用をすることはやめて欲しい、③運送業界で待機時間にアイドリングを行い、エアコン使用を行っている企業はない、との考えを主張した。

次に弁済費用負担についてであり、まず物損事故(車両事故・積荷の破損を含む)については、やむを得ない事故もあるし、職員全員とは言わないがドライバーの運転の質を問うような問題もあるという回答であった。

三つ目は賃金の引上げについてであり、経営的にも厳しい状況の中で賃金を引き上げることは出来ないとの回答であった。また、現在支給を行っている皆勤手当を愛車手当に名称変更を行い、愛車手当プラスαとして支給を行いたいとの逆提案を行ってきた。

組合としては、会社の回答を理解しないわけではないが、弁済費用負担は組合員の実生活にも直接影響があるので慎重に検討し会社に組合案の提案を行うと共に、弁済金がどのように使われているのか会社側に明らかにするように主張した。主張はそれぞれ食い違っているが全国一般としても今後の交渉に全力で臨んでいく。

発行・自治労全国一般鹿児島地方労働組合 連絡先・郵便番号890-0064 鹿児島市鴨池新町5-7-202

TEL 099-258-3045

FAX 099-258-9206 (留守番電話は書記長に転送されます)

Eメール u-kagoshima@theia.ocn.ne.jp